

～松山の思い 届けたい～

ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

1月号 Vol.17



今月の表紙—松山城で野球拳

松山城のイベントの一環で、新春を祝い、地元の芸者が踊りを披露する「お城の舞」が1月3日、天守閣で行われました。三味線の音色が流れる中、観光客を交え「野球拳」などの遊びも行われ、会場は陽気な雰囲気に包まれていました。

12月 県内の動き

- ・太陽電池の「セルコ・ジャングループ」工場が松山(大可賀)で操業開始(1日)
- ・おもてなしの心で観光振興 愛媛県が「えひめお接待の心観光振興条例案」を可決(11日)
- ・松山市三津の「森家住宅主屋」が国の登録文化財として答申を受ける(11日)
- ・リクルートが中四国居住者に調査した「もう一度行ってみたい温泉」の第2位に道後温泉(15日)

市政スポット

- ・水道水の利用促進や水の備蓄意識を高めるため、アルミ缶に入れた水道水を無料配布(4日)
- ・まつやま農林水産物ブランド「紅まどんな」の試食会が道後温泉で行われる(5日)
- ・愛媛県内の農水産物や加工品、工芸品などの販売店「えひめイズム」がロープウェー街にオープン(6日)
- ・スペシャルドラマ「坂の上の雲」にも登場する道後温泉本館が恒例のすす払い(8日)
- ・坂の上の雲ミュージアムがドラマ効果で入館者が急増 前年対比で3倍に(9日)
- ・松山市市制施行120周年記念シンポジウムがコミュニティーセンターで開催(15日)

～ふるさと探訪⑤～

「古き良き文化が漂う 三津界隈を訪ねて」

三津界隈を訪ねて

いま三津に熱い視線が注がれています。戦火を免れ、今も古い町並みが残る界隈をぶらぶら歩けば、港町風情の魅力を満喫することができます。また、小説「坂の上の雲」に関するゆかりの地が多数あり、物語の世界へといざなわれる空間がそこにあります。



三津の渡し
三津浜港内で運航されている500年の歴史を誇る渡し舟。地域の大切な交通手段のひとつ。



秋山好古・真之像
梅津寺公園の見晴山に、2人の像が立っている。



デビラ干し
内港の冬の風物詩。デビラとはカレイの仲間で、赤デビラと白デビラがあり、4日間ほど干して干物にする。

きせんのりばと子規の句碑
正岡子規が、明治16年、17歳の時にはじめて三津から船に乗って上京した場所。石碑の隣には、明治28年に子規が上京する際に詠まれた句碑がある。



鯛や

伊予名物の鯛めし専門店。1日30食限定で要予約。

今年度中に建物が登録有形文化財に指定される見込み。TEL089-951-1061



石崎汽船本社
大正13年の建築で、設計は「萬翠荘」「県庁本館」も手がけた木子七郎。建物は国の登録有形文化財。



みよし(三津浜焼き)

台付と呼ばれる広島風とはひと味違うお好み焼きが、まちのいたるところで楽しめる。その味とボリュームに満足感間違いなし。

肉玉台付き 550円 TEL089-952-3262

三津のロマン、いま輝いて・・・「三津の朝市」と「松山鮓(ずし)」

「三津の朝市」伊予節の最初に唄われている「三津の朝市」が「平成の朝市」として復活。新鮮な地物の魚介類、海産物が手頃な値段で手に入るので、開市から大勢の人々で賑わっています。

開催日：第2・4土曜日 営業時間：午前7時～午前11時

「松山鮓」子規が郷土料理の誇りとし、夏目漱石も一粒こぼさず食べたといわれる松山の郷土料理。朝市が復活した際に地元的女性部が再現し、今では市内の料理店のメニューにもなっています。



プレイバック2009 松山市政この1年

月	できごと	月	できごと
1月	メッセ・まつやま2009	7月	第37回日米大学野球選手権大会
2月	市制施行120周年記念式典	8月	第5回全日本女子硬式野球選手権大会 坂の上の雲ミュージアム来館者30万人突破
3月	坂の上の雲ミュージアム企画展「秋山好古」	9月	第52回オールスター競輪
4月	松山市・横須賀市集客パートナー都市協定締結	10月	消防救急艇「はやぶさ」運行
5月	興居島小学校開校式	11月	中核市サミット2009in松山
6月	湧水対策本部設置	12月	市制施行120周年記念シンポジウム

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@citymatsuyama.eh.jp